

科目名	英語圏文化特殊研究	担当者	タケノ カズオ 竹野 一雄	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	本講義は、キリスト教と文学の関係論についての生産的な見識を培い、キリスト教徒作家の作品の特質を学ぶ。		
到達目標	キリスト教と文学の関係論に対する知見を得て、宗教的次元を含み持つ文学作品を読むことにより、人間の多種多様な経験を理解し、私たちの経験に形を与え、私たちの存在を拡大し、物事に対する意識を高め、思考を活性化させ、人々との共生を志向すること。		
学修方法	それぞれの教材を虚心坦懐に精読し、批判的、生産的に再読する。この作業がアルファでありオメガである。レポート課題に関する質問が生じたとき、質問事項について自分でできるだけ調べること。その上で疑問点が解決できない場合に、科目担当者に質問するという手順を踏むようにすること。		
スケジュール	<p>課題レポートは前期・後期の定められた期間内に提出すること。ただし、履修者は課題レポート草稿の添削を受け、科目担当者の了解を得たあとに最終稿を提出することとする。</p> <p>前期・後期課題レポート提出の順序</p> <ol style="list-style-type: none"> ①課題レポート作成のための準備作業（教材熟読、担当者との質疑応答、資料収集等を含む）。 ②課題レポート草稿を作成しレポートシステムに投稿。 ③教員からの添削ファイルないしコメントを受領し、第二草稿を作成しレポートシステムに投稿、このやりとりが何回かつづく。 ④科目担当者による最終稿の認定を受け、課題レポート提出完了。 		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	レポート課題の理解、論旨の明快さ、表現の的確さ、内容の豊かさ、注記などについて総合的に評価。
	平常評価	20%	レポート提出プロセスの順守状況、レポート添削コメントに対する応答内容を評価。
履修者への要望	難解なテキスト解読に雄々しくチャレンジして欲しい。ベストを尽くして課題に取り組むことを期待する。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 竹野一雄 教材名： 『想像力の巨匠たち』（彩流社，2003年）ISBN:978-4-88-202821-5 2,800円+税（古書購入可能） 著者名 Leland Ryken 教材名： <i>The Christian Imagination</i> （本書購入の必要なし）
	『想像力の巨匠たち』は、キリスト教芸術哲学の試み、聖書的テーマと文学におけるその現れを扱い、グレアム・グリーン、C. S. ルイス、ジョージ・マクドナルド、チャールズ・ウィリアムズの四人のイギリス人作家における文学とキリスト教との関係を具体的な作品において追究した論考である。 <i>The Christian Imagination</i> はキリスト教と文学に関する一大論集である。本書は欧米宗教文学研究において計り知れない価値を持つもので、この分野の研究を拡大発展させる貴重な文献である。
参考図書	ヘレン・ガードナー著／新井明訳『宗教と文学』（彩流社，1997年）ISBN:978-4-88-202442-2 3,400円+税 T. R. ライト著／山形和美訳『神学と文学』（聖学院大学出版会，2009年） 山形和美編『新しきミュージズ』（新教出版社，1987年） Michael Edwards, <i>Towards a Christian Poetics</i> . Palgrave Macmillan, 1984 Nathan Scott, <i>Poetics of Belief</i> . Univ of North Carolina Pr., 1985
履修上のポイント	テクストの徹底的な読みを実践し、論者の発想を的確に把握するように努める。
レポート課題 1	<i>The Christian Imagination</i> の Part1(Leland Ryken: <i>Thinking Christianly About Literature</i>)の内容を要約し、批評しなさい。
レポート課題 2	『想像力の巨匠たち』第1章～第2章を要約し、それぞれの章の内容を批評しなさい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 竹野一雄 教材名： 『想像力の巨匠たち』（彩流社，2003年）ISBN:978-4-88-202821-5 2,800円+税（古書購入可能） 著者名： Leland Ryken 教材名： <i>The Christian Imagination</i> （本書購入の必要なし）
	『想像力の巨匠たち』は、キリスト教芸術哲学の試み、聖書的テーマと文学におけるその現れを扱い、グレアム・グリーン、C. S. ルイス、ジョージ・マクドナルド、チャールズ・ウィリアムズの四人のイギリス人作家における文学とキリスト教との関係を具体的な作品において追究した論考である。 <i>The Christian Imagination</i> はキリスト教と文学に関する一大論集である。本書は欧米宗教文学研究において計り知れない価値を持つもので、この分野の研究を拡大発展させる貴重な文献である。
参考図書	ヘレン・ガードナー著／新井明訳『宗教と文学』（彩流社，1997年）ISBN:978-4-88-202442-2 3,400円+税 T. R. ライト著／山形和美訳『神学と文学』（聖学院大学出版会，2009年） 山形和美編『新しきミュージズ』（新教出版社，1987年） Michael Edwards, <i>Towards a Christian Poetics</i> . Palgrave Macmillan, 1984 Nathan Scott, <i>Poetics of Belief</i> . Univ of North Carolina Pr., 1985
履修上のポイント	テクストの徹底的な読みを実践し、論者の発想を的確に把握するように努める。
レポート課題 1	<i>The Christian Imagination</i> の Part8(Frederick Buechner: <i>The Gospel as Fairy Tale</i>)の内容を要約し、批評しなさい。 字数制限なし
レポート課題 2	個別課題とする